

09/605, 0/3 GAU. 2626

(書誌+要約+請求の範囲+実施例)

JAPANESE TEXT OF DOCUMENT (1)

- (19)【発行国】日本国特許庁(JP)  
(12)【公報種別】公開特許公報(A)  
(11)【公開番号】特開平7-321980  
(43)【公開日】平成7年(1995)12月8日  
(54)【発明の名称】複合複写装置  
(51)【国際特許分類第6版】

H04N 1/00 104 B

【審査請求】未請求  
【請求項の数】5  
【出願形態】FD  
【全頁数】6  
(21)【出願番号】特願平6-128025  
(22)【出願日】平成6年(1994)5月19日  
(71)【出願人】  
【識別番号】000006747  
【氏名又は名称】株式会社リコー  
【住所又は居所】東京都大田区中馬込1丁目3番6号  
(72)【発明者】  
【氏名】伊藤 仁一  
【住所又は居所】東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(57)【要約】

【目的】配布する文書を複写せずにその内容を多くの人に簡単に知らせる。  
【構成】LAN2により複数の端末装置3a~3nに接続された複合複写装置1から文書等を配布するときに、配布先選択部13は指定された配布先を接続先記憶部11から選択して原稿名とともに配布先記憶部12に一時格納する。読み取られた原稿データはデータ蓄積部10に記憶する。配布先通知部14は指定された原稿の配布先を配布先記憶部12から読み出してLAN制御部6に送り、指定された配布先に配布原稿があることを通知する。端末装置から原稿の配布要求があったときに、その端末装置に蓄積された原稿のデータを送信する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】LAN機能とファクシミリ機能を有し、LANにより複数の端末装置に接続された複合複写装置において、操作表示部と接続先記憶部と配布先記憶部と配布先選択部とデータ蓄積部と配布先通知部及び配布原稿出力部とを有し、操作表示部は通常の複写か読み取った原稿の配布かを指定する動作指定手段と、配布原稿名と原稿を配布する端末装置を指定する配布先指定手段とを有し、接続先記憶部はLANで接続された各端末装置の識別番号を記憶し、配布先記憶部は配布原稿名と原稿を配布する端末装置の識別番号を一時記憶し、配布先選択部は操作表示部で原稿の配布が指定されたときに、指定された配布先端末装置を接続先記憶部から選択して配布原稿名とともに配布先記憶部に格納し、データ蓄積部は原稿の配布が指定されたときに、読み取った原稿のデータを一時記憶し、配布先通知部は原稿の配布が指定され、原稿を読み取ったときに、原稿の配布先を配布先記憶部から読み出してLAN制御部に送り、LAN制御部は送られた配布先端末装置に配布原稿名と配布原稿があることを通知し、配布原稿出力部は各端末装置から原稿の配布依頼があったときに、その原稿のデータをデータ蓄積部から読み出してLAN制御部5に送ることを特徴とする複合複写装置。  
【請求項2】配布先選択部は読み取った原稿の固定フォーマット形式の配布先覧のデータから配布先端末装置を特定する請求項1記載の複合複写装置。  
【請求項3】各端末装置から原稿の配布要求があったときに、配布原稿出力部でデータ蓄積部に蓄積された原稿のデータを読み出し、配布要求があった端末装置に送信する請求項1又は2記載の複合複写装置。  
【請求項4】端末装置から原稿の複写不要の要求があったときに、その端末装置を配布先記憶部から削除する請求項3記載の複合複写装置。  
【請求項5】配布先選択部は指定された配布先が接続先記憶部に記憶されていないときに、その配布先をファクシミリ制御部に送り、ファクシミリ制御部は指定された配布先に原稿のデータを送信する請求項1又は2記載の複合複写装置。

【実施例】図1はこの発明の一実施例の構成を示すブロック図である。図に示すように、複合複写装置1はLAN機能とファクシミリ機能を有し、LAN2により例えば事業所内のワークステーションやパーソナルコンピュータ等の複数の端末装置3a~3nに接続されている。この複合複写装置1は、装置全体を管理し、各種動作機能を選択するとともに選択した動作の処理を行なうシステム制御部4と、LAN2に接続された端末装置3a~3nとの通信を行なうLAN制御部5と、通信回線に接続されたファクシミリ通信制御部6と、複写する原稿や配布する原稿を読み取る読取部7と、読み取った原稿を記録用紙に印字する印字部8と、操作表示部9と、読み取った原稿のデータを一時記憶するデータ蓄積部10と接続先記憶部11、配布先記憶部12、配布先選択部13、配布先通知部14及び配布原稿出力部15とを有する。

【0017】操作表示部9には各種操作キーや各種制御情報等を表示する表示部とともに、図2の構成図に示すように、通常の複写か読み取った原稿の配布かを指定する動作指定キー91と、配布原稿名と原稿を配布する端末装置を指定する例えばキーボードやタッチパネル等からなる配布先指定手段92と、配布原稿の印字出力を指令する配布原稿出力キー93等を有する。接続先記憶部11にはLAN2で接続された各端末装置3a~3nの識別番号があらかじめ記憶してある。配布先記憶部12は、図3の説明図に

示すように、文書名と配布先を格納する格納テーブル121を有し、配布する原稿名とその原稿を配布する端末装置の識別番号を一時記憶する。配布先選択部13は操作表示部9の動作指定キー91で原稿の配布が指定されてシステム制御部4で原稿配布動作機能が選択され、配布先指定手段92から原稿名と配布先が指定されたときに接続先記憶部11に記憶された各端末装置3a~3nの中から指定された端末装置を選択し、選択した端末装置を配布する原稿名とともに配布先記憶部12に格納する。配布先通知部14は原稿の配布が指定されて配布する原稿が読み取られたときに、その原稿名と配布先を配布先記憶部12から読み出してLAN制御部5に送る。配布原稿出力部15は各端末装置3a~3nから原稿の配布依頼があったときに、その原稿のデータをデータ蓄積部10から読み出してLAN制御部5に送る。

【0018】上記のように構成された複合複写装置1で文書等を配布するときの動作を図4のフローチャートを参照して説明する。  
【0019】操作表示部9の動作指定キー91を操作して原稿の配布を選択すると、システム制御部4は原稿配布動作機能を選択し、配布先選択部12や配布先通知部14に処理を指令する(ステップS1)。この状態で操作表示部9の配布先指定手段92で配布する原稿名と配布先が指定されると(ステップS2)、配布先選択部13は指定された配布原稿名を配布先記憶部12の格納テーブル121に記憶させ、接続先記憶部11に記憶された各端末装置3a~3nの中から指定された端末装置の識別番号を逐次選択して配布先記憶部12に送り、配布原稿名とともに記憶させる(ステップS3)。操作表示部9で配布する原稿名と配布先が指定された後、スタートキーが操作されると読取部7はセットされた原稿の読み取りを開始し、読み取った原稿のデータを逐次データ蓄積部10に格納する(ステップS4)。このデータ蓄積部10に格納された原稿のデータは原稿配布動作機能が選択されているときは印字部8から印字出力しないでそのまま保存しておく。原稿の読み取りが終了すると(ステップS5)、配布先通知部14は指定された原稿名から配布先記憶部12の格納テーブル121を検索し、その原稿の配布先端末装置の識別番号を逐次読み出して原稿名とともにLAN制御部5に送る。LAN制御部5は送られた識別番号の各端末装置に配布原稿がある旨とその原稿名を送る(ステップS6)。このようにして文書等を配布するときに配布が必要な端末装置に配布する原稿名と配布原稿がある旨を迅速に通知することができる。

【0020】この配布原稿がある旨とその原稿名が通知された端末装置から通知された原稿の出力依頼があると(ステップS7)、LAN制御部5は出力依頼された原稿名と端末装置の識別番号を配布原稿出力部15に送る。配布原稿出力部15は送られた原稿名から配布先記憶部12に記憶されている端末装置の識別番号を照合し、依頼した端末装置がその原稿の配布先であることを確認したら、データ蓄積部10に記憶してある原稿のデータを読み出してLAN制御部5に送る。LAN制御部5は送られた原稿のデータを出力依頼があった端末装置に送信する(ステップS8)。したがって各端末装置3a~3nは必要とする配布原稿の内容を各端末装置毎に画面で直接確認することができる。したがって各端末装置3a~3nで保存する必要がある文書等のみを印字出力することができる。

【0021】また、複合複写装置1で印字出力する場合には、記録用紙に印字して保存することを必要としない端末装置からその旨の通知を受けると、配布先選択部13は配布先記憶部12に記憶してあるその端末装置の識別番号を削除する。そして他の端末装置から印字して保存するために記録用紙に印字することを要求された場合、あるいは操作表示部9の配布原稿出力キー93が操作された場合は、データ蓄積部10に記憶した原稿のデータを必要とする枚数だけ印字部9から印字出力する。このようにして保存する必要がある枚数だけ印字出力するから、無駄に印字出力することをなくすことができ、記録用紙の無駄な使用を防ぐことができる。また、廃棄書類を少なくすることができる。

【0022】また、操作表示部9の動作指定キー91を操作して原稿複写が選択されたときは、通常の複写動作に入る(ステップS9)。

【0023】なお、上記実施例は操作表示部9の配布先指定手段92で配布する原稿名と各配布先を入力した場合について説明したが、読取部7で読み取った配布原稿の先端にある固定フォーマット形式の配布先覧のデータから配布先選択部13へ配布原稿名と各配布先を自動的に特定するようにしても良い。

【0024】また、上記実施例はLAN2に接続された各端末装置3a~3nに配布する原稿がある旨を通知してから、原稿の内容を送信する場合について説明したが、配布する原稿名と各配布先が指定され、配布先選択部13で配布先を検索したときに、配布先の一部がLAN2に接続されていないことを確認したときは、その配布先をファクシミリ通信制御部6に送り、ファクシミリ通信で原稿のデータを送信する。このようにしたLAN2に接続されていない相手先にも文書等の原稿を配布することができる。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明はLAN機能とファクシミリ機能を有し、LANにより複数の端末装置に接続された複合複写装置、特に文書配布の容易化に関するものである。

【0002】

【従来の技術】事務所等では報告書や議事録等の各種情報を記載した文書は、通常複数の人に配布したり回覧したりしている。このような場合、同一文書を多数複写し、複写した文書を配布したり回覧している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記のように文書を配布する場合は、同一文書を多数複写しているが、配布された文書は必ずしも個人で保管する必要がなく、配布された文書の内容を確認した後に廃棄される場合も多い。このため廃棄される紙が多くなるとともに記録用紙も無駄に消費されてしまう。

【0004】また、文書を配布するために、担当者がその都度多くの人の場所へ行って配布しなければならず、配布作業に多くの時間を要し、時間が無駄になってしまう。

【0005】この発明はかかる短所を解消するためになされたものであり、配布する文書を複写せずにその内容を多くの人に簡単に知らせることができる複合複写装置を得ることを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明に係る複合複写装置はLAN機能とファクシミリ機能を有し、LANにより複数の端末装置に接続された複合複写装置において、操作表示部と接続先記憶部と配布先記憶部とデータ蓄積部と配布先選択部と配布先通知部及び配布原稿出力部とを有し、操作表示部は通常の複写が読み取った原稿の配布かを指定する動作指定手段と、配布原稿名と原稿を配布する端末装置を指定する配布先指定手段とを有し、接続先記憶部はLANで接続された各端末装置の識別番号を記憶し、配布先記憶部は配布原稿名と原稿を配布する端末装置の識別番号を一時記憶し、配布先選択部は操作表示部で原稿の配布が指定されたときに、指定された配布先端末装置を接続先記憶部から選択して配布原稿名とともに配布先記憶部に格納し、データ蓄積部は原稿の配布が指定されたときに、読み取った原稿のデータを一時記憶し、配布先通知部は原稿の配布が指定され、原稿を読み取ったときに、原稿の配布先を配布先記憶部から読み出してLAN制御部に送り、LAN制御部は送られた配布先端末装置に配布原稿名と配布原稿があることを通知し、配布原稿出力部は各端末装置から原稿の配布依頼があったときに、その原稿のデータをデータ蓄積部から読み出してLAN制御部に送ることを特徴とする。

【0007】上記配布先選択部は読み取った原稿の固定フォーマット形式の配布先データのデータから配布先端末装置を特定しても良い。

【0008】そして各端末装置から原稿の配布要求があったときに、各端末装置から原稿の配布要求があったときに、配布原稿出力部でデータ蓄積部に蓄積された原稿のデータを読み出し、配布要求があった端末装置に送信する。

【0009】また、端末装置から原稿の複写不要の要求があったときに、その端末装置を配布先記憶部から削除する。

【0010】さらに、配布先選択部は指定された配布先が接続先記憶部に記憶されていないときに、その配布先をファクシミリ制御部に送り、ファクシミリ制御部は指定された配布先に原稿のデータを送信することが望ましい。

【0011】

【作用】この発明において、LANにより複数の端末装置に接続された複合複写装置の接続先記憶部にあらかじめLANで接続された各端末装置を記憶しておく。そして各端末装置に原稿を配布するときは、複合複写装置の操作表示部に設けた動作指定手段で原稿の配布を選択して指定し、複合複写装置の動作機能を原稿配布処理に切り換える。その後、操作表示部の配布先指定手段で配布する原稿名とその原稿を配布する端末装置を指定して入力する。配布先選択部は指定された配布先端末装置を接続先記憶部から逐次選択して配布原稿名とともに配布先記憶部に一時格納する。一方、原稿配布処理のときに読み取られた原稿のデータはデータ蓄積部に一時記憶する。この原稿の読み取りが終了したら、配布先通知部は指定された原稿の配布先を配布先記憶部から読み出してLAN制御部に送り、LAN制御部から配布先と指定された端末装置に原稿名と配布原稿があることを逐次通知する。

【0012】また、配布先選択部は読み取った原稿の固定フォーマット形式の配布先データのデータから配布先端末装置を特定することにより、自動的に原稿の配布先を特定することもできる。

【0013】一方、配布原稿があることの通知を受けた端末装置から原稿の配布要求があったときに、その端末装置にデータ蓄積部に蓄積された原稿のデータを送信し、各端末装置で必要とするデータのみを送信する。

【0014】また、端末装置から原稿の複写不要の要求があったときに、その端末装置を配布先記憶部から削除し、記録用紙に複写する枚数を低減する。

【0015】さらに、配布先選択部は指定された配布先がLANに接続された端末装置でないときに、その配布先をファクシミリ通信で原稿を配布する。

【0016】

【実施例】図1はこの発明の一実施例の構成を示すブロック図である。図に示すように、複合複写装置1はLAN機能とファクシミリ機能を有し、LAN2により例えば事業所内のワークステーションやパーソナルコンピュータ等の複数の端末装置3a～3nに接続されている。この複合複写装置1は、装置全体を管理し、各種動作機能を選択するとともに選択した動作の処理を行なうシステム制御部4と、LAN2に接続された端末装置3a～3nとの通信を行なうLAN制御部5と、通信回線に接続されたファクシミリ通信制御部6と、複写する原稿や配布する原稿を読み取る読取部7と、読み取った原稿を記録用紙に印字する印字部8と、操作表示部9と、読み取った原稿のデータを一時記憶するデータ蓄積部10と接続先記憶部11、配布先記憶部12、配布先選択部13、配布先通知部14及び配布原稿出力部15とを有する。

【0017】操作表示部9には各種操作キーや各種制御情報等を表示する表示部とともに、図2の構成図に示すように、通常の複写が読み取った原稿の配布かを指定する動作指定キー91と、配布原稿名と原稿を配布する端末装置を指定する例えばキーボードやタッチパネル等からなる配布先指定手段92と、配布原稿の印字出力を指令する配布原稿出力キー93等を有する。接続先記憶部11にはLAN2で接続された各端末装置3a～3nの識別番号があらかじめ記憶してある。配布先記憶部12は、図3の説明図に示すように、文書名と配布先を格納する格納テーブル121を有し、配布する原稿名とその原稿を配布する端末装置の識別番号を一時記憶する。配布先選択部13は操作表示部9の動作指定キー91で原稿の配布が指定されてシステム制御部4で原稿配布動作機能が選択され、配布先指定手段92から原稿名と配布先が指定されたときに接続先記憶部11に記憶された各端末装置3a～3nの中から指定された端末装置を選択し、選択した端末装置を配布する原稿名とともに配布先記憶部12に格納する。配布先通知部14は原稿の配布が指定されて配布する原稿が読み取られたときに、その原稿名と配布先を配布先記憶部12から読み出してLAN制御部5に送る。配布原稿出力部15は各端末装置3a～3nから原稿の配布依頼があったときに、その原稿のデータをデータ蓄積部10から読み出してLAN制御部5に送る。

【0018】上記のように構成された複合複写装置1で文書等を配布するときの動作を図4のフローチャートを参照して説明する。

【0019】操作表示部9の動作指定キー91を操作して原稿の配布を選択すると、システム制御部4は原稿配布動作機能を選択し、配布先選択部12や配布先通知部14に処理を指令する(ステップS1)。この状態で操作表示部9の配布先指定手段92で配布する原稿名と配布先が指定されると(ステップS2)、配布先選択部13は指定された配布原稿名を配布先記憶部12の格納テーブル121に記憶させ、接続先記憶部11に記憶された各端末装置3a~3nの中から指定された端末装置の識別番号を逐次選択して配布先記憶部12に送り、配布原稿名とともに記憶させる(ステップS3)。操作表示部9で配布する原稿名と配布先が指定された後、スタートキーが操作されると読取部7はセットされた原稿の読み取りを開始し、読み取った原稿のデータを逐次データ蓄積部10に格納する(ステップS4)。このデータ蓄積部10に格納された原稿のデータは原稿配布動作機能が選択されているときは印字部8から印字出力しないでそのまま保存しておく。原稿の読み取りが終了すると(ステップS5)、配布先通知部14は指定された原稿名から配布先記憶部12の格納テーブル121を検索し、その原稿の配布先端末装置の識別番号を逐次読み出して原稿名とともにLAN制御部5に送る。LAN制御部5は送られた識別番号の各端末装置に配布原稿がある旨とその原稿名を送る(ステップS6)。このようにして文書等を配布するときには配布が必要な端末装置に配布する原稿名と配布原稿がある旨を迅速に通知することができる。

【0020】この配布原稿がある旨とその原稿名が通知された端末装置から通知された原稿の出力依頼があると(ステップS7)、LAN制御部5は出力依頼された原稿名と端末装置の識別番号を配布原稿出力部15に送る。配布原稿出力部15は送られた原稿名から配布先記憶部12に記憶されている端末装置の識別番号を照合し、依頼した端末装置がその原稿の配布先であることを確認したら、データ蓄積部10に記憶してある原稿のデータを読み出してLAN制御部5に送る。LAN制御部5は送られた原稿のデータを出力依頼があった端末装置に送信する(ステップS8)。したがって各端末装置3a~3nは必要とする配布原稿の内容を各端末装置毎に画面で直接確認することができる。したがって各端末装置3a~3nで保存する必要がある文書等のみを印字出力することができる。

【0021】また、複合複写装置1で印字出力する場合には、記録用紙に印字して保存することを必要としない端末装置からその旨の通知を受けると、配布先選択部13は配布先記憶部12に記憶してあるその端末装置の識別番号を削除する。そして他の端末装置から印字して保存するために記録用紙に印字することを要求された場合、あるいは操作表示部9の配布原稿出力キー93が操作された場合は、データ蓄積部10に記憶した原稿のデータを必要とする枚数だけ印字部9から印字出力する。このようにして保存する必要がある枚数だけ印字出力するから、無駄に印字出力することをなくことができ、記録用紙の無駄な使用を防ぐことができる。また、廃棄書類を少なくすることができる。

【0022】また、操作表示部9の動作指定キー91を操作して原稿複写が選択されたときは、通常の複写動作に入る(ステップS9)。

【0023】なお、上記実施例は操作表示部9の配布先指定手段92で配布する原稿名と各配布先を入力した場合について説明したが、読取部7で読み取った配布原稿の先端にある固定フォーマット形式の配布先一覧のデータから配布先選択部13へ配布原稿名と各配布先を自動的に特定するようにしても良い。

【0024】また、上記実施例はLAN2に接続された各端末装置3a~3nに配布する原稿がある旨を通知してから、原稿の内容を送信する場合について説明したが、配布する原稿名と各配布先が指定され、配布先選択部13で配布先を検索したときに、配布先の一部がLAN2に接続されていないことを確認したときは、その配布先をファクシミリ通信制御部6に送り、ファクシミリ通信で原稿のデータを送信する。このようにしたLAN2に接続されていない相手先にも文書等の原稿を配布することができる。

【0025】

【発明の効果】この発明は以上説明したように、LANに接続した複数の端末装置に原稿を配布するときは、配布が指定された端末装置に原稿名と配布原稿があることを通知するから、担当者が各配布先に連絡しなくても配布原稿がある旨を迅速に通知することができる。

【0026】また、配布原稿があることの通知を受けた端末装置から原稿の配布要求があったときに、その端末装置に原稿のデータを送信するから、各端末装置は必要とする配布する原稿の内容を画面で直接確認することができ、文書等の配布時間を大幅に短縮することができる。また、必要とするデータのみを得ることができる。

【0027】また、原稿の保存のために印字出力するときに、必要とする枚数だけ印字出力するから、記録用紙の無駄な使用を防ぐことができる。また、廃棄書類を少なくすることができる。

【0028】また、読み取った原稿の固定フォーマット形式の配布先一覧のデータから配布先端末装置を特定することにより、配布する原稿名と原稿の配布先を自動的に特定することができ、文書等の原稿を容易に配布することができる。

【0029】さらに、指定された配布先がLANに接続された端末装置でないときに、その配布先にファクシミリ通信で原稿を配布することにより、LANで接続された端末装置以外の場所にも、担当者が行かずに文書等を配布することができる。

## 図の説明

### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】上記実施例の操作表示部の一部を示す構成図である。

【図3】上記実施例の配布先記憶部の構成を示す説明図である。

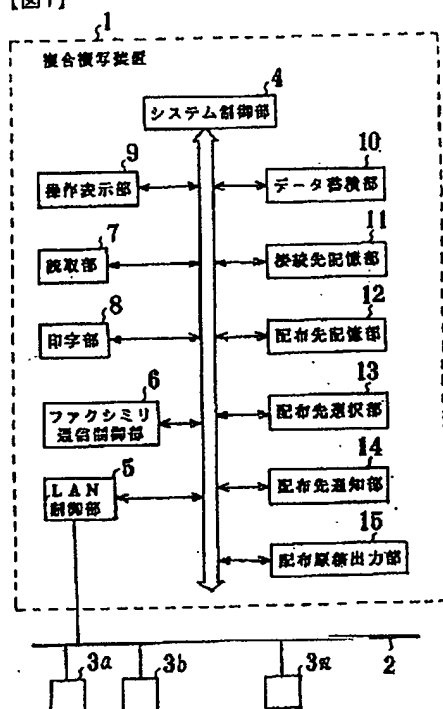
【図4】上記実施例の動作を示すフローチャートである。

### 【符号の説明】

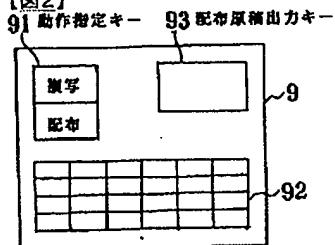
- 1 複合複写装置
- 2 LAN
- 3a~3n 端末装置
- 4 システム制御部
- 5 LAN制御部
- 6 ファクシミリ通信制御部
- 9 操作表示部
- 10 データ蓄積部
- 11 接続先記憶部
- 12 配布先記憶部
- 13 配布先選択部
- 14 配布先通知部
- 15 配布原稿出力部
- 91 動作指定キー
- 92 配布先指定手段

図面

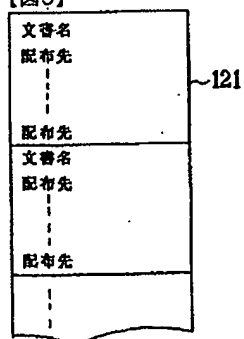
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

